



2019年4月18日

各 位

会 社 名 高砂熱学工業株式会社
 (コード番号 1969 東証第1部)
 代 表 者 役職名 代表取締役会長兼社長
 氏 名 大内 厚
 問合せ先責任者 役職名 執行役員
 コーポレート本部長
 氏 名 横手 敏一
 TEL (03) 6369-8215

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2018年5月11日に公表した2019年3月期通期(2018年4月1日～2019年3月31日)の業績予想を下記のとおり修正しましたのでお知らせいたします。

記

1. 2019年3月期通期 連結業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 300,000	百万円 16,500	百万円 17,500	百万円 11,800	円 銭 160.34
今回修正予想 (B)	319,000	17,200	18,200	12,500	171.79
増減額 (B-A)	19,000	700	700	700	—
増減率 (%)	6.3	4.2	4.0	5.9	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	289,933	16,362	17,461	11,804	160.41

2. 2019年3月期通期 個別業績予想数値の修正

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	百万円 228,000	百万円 13,100	百万円 14,600	百万円 10,400	円 銭 140.81
今回修正予想 (B)	245,000	14,200	15,800	11,300	154.73
増減額 (B-A)	17,000	1,100	1,200	900	—
増減率 (%)	7.5	8.4	8.2	8.7	—
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	217,474	13,570	15,023	10,306	139.53

3. 修正の理由

主として個別業績予想につきまして、首都圏の大型再開発工事が順調に進捗したことに加え、工場やデータセンター等の産業設備工事が増加したことに伴い、売上高および売上総利益の増加が見込まれること等によります。

また、受注高につきましては、大都市圏の再開発案件や製造業を中心とした設備投資が活発化した結果、連結・個別ともに前回発表予想を大幅に上回る見込みです。

(参考)

2019年3月期通期 受注予想数値の修正 (2018年4月1日～2019年3月31日)

	連結受注高	個別受注高
前回発表予想 (A)	百万円 280,000	百万円 205,000
今回修正予想 (B)	330,000	254,000
増減額 (B - A)	50,000	49,000
増減率 (%)	17.9	23.9
(ご参考)前期実績 (2018年3月期)	288,646	216,133

(注)上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

以上